



〈研究〉銀行ナル名辭ノ由来ニ就テ(2)

武藤, 長藏

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 24(2):249-258

(Issue Date)

1918-02

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00052844>



研究

銀行ナル名辭ノ由來ニ就テ (其二)

長崎高等商業學校教授

商學士 武藤 長藏

三

(其二) 明治前後ノ翻譯書

(甲)明治前後ノ翻譯書中先ヅ蘭語ヨリ譯シタルモノヲ示サント欲レドモ適當ナルモノナシタム慶應三年新彫ノ神田孝平氏重譯經濟小學ハ英文原著ヲ蘭語ニ翻譯シタルモノ、重譯也、若シ此書以外適當ナル書物アル事ヲ知ラル、讀者ハ予ニ教ヲ垂レラレン事ヲ希フモノ也。

慶應三年新彫神田孝平氏重譯經濟小學(長崎師範學校所藏本ニ據ル)上編ニハ今日銀行ト稱スベキヲ金館ト譯セリ例ヘバ上編紙幣ノ部第二十九枚目ノ表ニ曰ク、

金館ノ業マタ眞幣ヲ用ユルノ苦ヲ省クガ爲ナリ民間餘貨アル者之ヲ持シテ金館ニ至レバ金館之ヲ受取り何時ニ限ラズ交還スベキヨシヲ約束シ證書ヲ與フ商人此證書ヲ懷ニスレバ隨所隨意ノ賣買ヲ爲スベシ。

次ニ二十九枚目ノ裏ニ曰ク、

商會金館等ノ業ハスベテ信義ノ行ハル、ヲ主トス。

但シ爲替ト題スル中ニハ會社又ハ會館ナル文字ヲ使用セリ。曰ク、

爲替ノ業亦會社アリテ之ヲ專ラニス其利分ハ數日間ノ利息ニアリ假令バ曼識特ノ丙某千金ノ眞幣若クハ紙幣ヲ持チ會館ニ至リ爲替手形ヲ買フ此手形(一字不明)内ニ七日ノ後倫敦ニテ千金ヲ渡スベキヨシヲ記ス丙某即チ之ヲ倫敦ノ丁某ニ送レバ丁某之ヲ持チテ倫敦ノ會館ニテ千金ヲ受取ルナリ右同時ニ甲某千金ヲ持チテ倫敦會館ニ至リ前同斷ノ手形ヲ買ヒ曼識特ノ乙某ニ送レバ乙某亦前同法ニテ千金ヲ受取ルナリ此受取渡ノ間千金ノ貨幣會館ニ在ルコト七日ナリ故ニ七日ノ間千金ヨリ生ズル所ノ利息ハ即チ會社ノ利分ナリ。

此書ノ原本ハ重譯者タル神田孝平氏ノ序文ニヨレバ『英國義里士氏ノ著ハス所ニシテ印行ハ我

嘉永庚戌ノ歲ニ在リ後七年和蘭文士某見テ以テ初學ニ益アリトシテ蘭文ヲ以テ之ヲ譯ス是レ即チ我重譯ノ原本ナリ重譯ノ業成ル因テ我知ル所ノ大略ヲ述べ且其顛末ヲ叙スト云フ——四月朔慶應丙寅譯者識ス』トアリ。此重譯書ハ予之ヲ現長崎縣立師範學校文庫(元ハ第五大學區長崎師範學校圖書)ニ發見シコノ書ハ山崎博士モ參照サレタル所ナレド英文原書又蘭文譯書モ之ヲ見タル事ナシ從テ神田氏ガ譯シテ(金館)ト稱ヘタル原文字ガ Bank ニシテ又神田氏ガ別ノ譯名即チ『爲替ノ業亦會社』又『會館』ニ至リ爲替手形ヲ買フ或ハ又『貨幣會館』ト譯セシ原語モ亦 Bank ナルヤ否ヤヲ知ラズ原本ヲ所持スル人ニ予ハ此點ニ就テ教ヲ仰ガントス、山崎博士ハ其著銀行論第一章第一節ニ此神田氏ノ重譯書ヲ引用サレ居レドモタゞ『金館』ナル譯ニ就テノミ一言シ他ノ譯語ニ就テハ何等云ハル、處ナキハ如何ナル理由ナル乎コレ予ガ山崎博士ニ問ハント欲スル一ツノ點也。

(乙)明治以後其ノ初年ニ當リ英語ヨリ譯シタル辭書以外(又聖書ヲモ除ク聖書ニ現ハレタル *Edies* of money changers 又ハ Bank ノ支那又ハ日本語譯ニ就テハ後ニ述ブベシ)主トシテ商業經濟書中

Bank ノ譯字ヲ檢シ銀行ナル譯字ノ行ハル、ニ至ルマデノ變遷ヲ可成年代ヲ追フテ排列研究スレバ大要次ノ如シ。

(a) 明治三年福地源一郎譯明治四年辛未九月大藏省出版ノ所謂官版會社辯ノ元本(東京上野、帝國圖書館內閣文庫等ニ所藏セラル)ヲ見ルニ其小引三則中ニ記スル處ニヨレバ『此書ハ米國學士ウエイランド氏ノ著セル經濟書綱目中ノ會社篇ヲ大旨トシ煩ヲ省キ要ヲ摘ミ傍ラ英國學士ミル氏荷蘭學士ニーマン氏ノ經濟篇中ニ就テ抄譯シ遺ヲ拾ヒ闕ヲ補ヒ更メ題シテ會社辯ト名ヅク』トアリ。

而シテ其目錄ニハ、

緒 言

預リ金會社

「バンク、オフ、デボシツト」

爲替會社

「バンク、オフ、エキステエンヂ」

貸附會社

「バンク、オフ、ジスカウント、セーウインバンク」

廻文會社

「バンク、オフ、シルクーション」

ト譯セリ。右ノ内貸附會社ノ原語ノ假名「セーウインバンク」ハ理解出來ズ誤ナルベシ原文ト對照スレバ、

Bank of Discount or Loan 也。

尙他ノ譯語ヲ一々原文ト對照セバ次ノ如シ。

預リ金會社 Bank of Deposit

爲替會社 Bank of Exchange

貸附會社 Bank of Discount

廻文會社 Bank of Circulation

譯文奇妙ニシテ Bankヲ銀行トセズシテ會社トナシタル最モ注意スベキ也但シ福地氏ハ「會社辯」小引中ノ一節ニ曰ク、

「會社トハ總テ百般ノ商工會同結社セシモノヲ通稱ニテ常例英語「コンパニー」「ゴルボレーション」ノ適譯ニ用ヒ來リ特ニ銀行ニ限ルノ義ニ非ズト雖モ今此書暫ラク「バンク」ヲ譯字トシテ銀行ノ字ニ代用ス」。

ト説明セリ福地氏ガ Bankヲ譯シテ銀行トセズ其代リニ會社ト譯セシハ今日ヨリ見レバ奇妙ナルノ感アレド前掲(甲)ノ中ニ引用セシ神田氏重譯經濟小學中ニ金館ノ外ニ「爲替ノ業亦會社アリ」ト譯シ又「會館」ナル譯字ヲ用ヒシト對照セバ如何又前ニ(其一)中ニ掲ゲタル英和辭書中「爲替會社」ナル譯ト對照セバ如何コレ考フベキ事ナラズヤ。

現ニ福地氏ハ Bank of Exchangeノ譯字トシテ爲替會社ナル字ヲ用ヒシハ別ニ其當時トシテハ批難スベキニアラズ然レドモ Bankヲ單ニ會社ト譯シ預リ金、爲替、貸附等ノ字ヲ附セズシテ云フ時ハ誤解ヲ招キ易ク不都合ノ嫌アリ、例ヘバ「會社ハ西洋諸州皆「バンク」ト云フ一體「バンク」ト云フ語ハ伊太利語ノ「バンコ」ノ轉訛ニシテ腰掛ノコトナリ、……金貸ヲ指シテ「バンク」「バンク」ト呼ビ通語トナリ轉ジテ會社ノ通名トナルト云フ」ト説明セシハ今日ノ用語ヨリ見レバ奇妙ノ感ナキ能ハズ。

然レドモ今日「銀行會社」ト稱シ銀行ガ會社ト別個ノモノナルガ如ク通俗ニ用語ノ區別ヲナスハ法律上又經濟上ノ理論ヨリ見レバ正シカラズ而モ世人之ヲ奇妙ナリト思ハザルコソ奇妙ナル人間ノ習慣性ナラズヤ、英語ニテ Banking Corporation ト云ヘバコレヲ銀行會社ト譯サズシテ單ニ銀行ト譯スレバコソ一般ニ通ズルノ譯ナリ。

英國都市ニ於テ市營事業ト私營事業トヲ區別スル爲メニ市營事業ハ Corporation ニヨルモノトシ私營ノモノハ Company ト記シ區別スルガ如キモタゞ便法タルニ過ギズ法理上ハカ、ル名稱ノ區別ハ正シカラズ。

(b) 明治六年再刻小幡篤次郎氏譯英氏經濟論ハ Francis Wayland 氏ノ著 The Elements of Political Economy ノ翻譯ナルガ其第六編中ノ表題ヲ原文ト對照スレバ次ノ如シ

(イ) Banks of Deposit and Exchange 預所及兩替ノ「バンク」

(ロ) Banks of Discount or Loan 貸付ノ「バンク」

(ハ) Banks of Circulation, or Issue 楮幣發出ノ「バンク」

(ニ) Of the sources of the Profit of Banks 「バンク」ノ功能ヲ論ズ

右ノ如ク Bank ノ原語ヲタゞ發音ノ儘「バンク」ト呼ビタルハ注意スベキ點也。(長崎縣立師範學校所藏本ニ據ル)。

實際社會ニ於テ明治ノ初年ニハ三井組「バンク」、小野組「バンク」等「バンク」ナル語用ヒラレタリ。

(附註) 故福澤諭吉氏著西洋事情外編(卷之一ハ題言ハ慶應三年丁卯季冬福澤諭吉誌トアリ其再刻ハ明治五年壬申、再々刻ハ明治六年三月ト記ス)卷之二ニハ今日ノ貯蓄銀行ノ事ヲ「積金預所」セイウ井ンクスパンク」ト記セリ又普通ノ銀行ノ事ヲ「尋常ノ兩替座」ト云ヘリ。

又 Post office savings bank ナ説明シテ「政府ノ飛脚場内ニ積金ノ預所ヲ設ケテコレヲ」ポーストオフヒシャイウ井ンクスパンク」ト名ケリ」ト記セリ。

(c) 明治七年三月其上編ヲ出版シタル文部省百科全書ノ一ツタル堀越愛國譯經濟論ハ Chambers's Information for the people 中 Political Economy ノ部分ヲ譯シタルモノナルガ原文ノ

Credit is given in various forms, as bonds, bills, bank-notes, credit accounts, open accounts, &c.

ヲ譯シテ其下ノ編第十六枚目ニ

『貸信ヲ與フル法諸種有リ即チ約券、手形、銀鋪證券、^⑤保信會計、^⑥賒貸會計等ノ如キ是ナリ』トセリ Bank ヲ銀鋪ト譯セシハ支那流也。

(註) 文部省百科全書ナルモノハコノ外ニ商業編、水運編、人口救窮及保險(コノ書ノ事ハ京都法科大學經濟論最十二月號ニ寄セタル拙稿「人口論ニ關スル明治前後ノ翻譯書」中ニ之ヲ述ベタリ)國民統計學(コノ書ハ未ダ見ズト雖モ出版サレシ筈ニテ文部省ニ所藏サレ居ルナラントハ文部省渡部蕭之介氏が予ニ答ヘラレシ處也)等經濟學ニ關係アルモノアリ。

(d) 明治七年三月ニ其卷之一ヲ文部省ヨリ出版シタル高橋達郎譯述泰西經濟濟新論ハ「E. Thord Rogers 著 A Manual of political Economy 第二版(1869)ヲ翻譯シタルモノナルガ其卷之二ノ第四編貨幣ノ代用又卷之六第十五編貨幣ノ貿易中 Bank ヲ銀行ト譯シ假名ヲ附スル事ナシ(コノ卷之二及卷之六ハ明治何年ノ出版ナルカ予ガ今參考使用シツ、アル長崎縣立師範學校所藏本ニハ明記セズ、若シ明記シアル本ヲ發見サレシ讀者ハ予ニ御一報ヲ乞フ)。

(e) 明治七年六月刊行文部省百科全書商業編 (Chambers's Information for the people ナル英書中商業ノ部ヲ前田利器氏が譯シタルモノ也) ニ爲替座論アリコレ今日ノ所謂銀行論也、(但シ内容ハ極メテ簡單ニシテ今日銀行論ト稱シテ各論的ノ長キ銀行ニ關スル説明アルニアラズ) ソノハジメニ「バンク」ノ原由ヲ論ズ」ト題セルアリ其説明ニ曰ク、

「貿易ニ用ル「バンク」ノ語ハ貨幣ヲ預ル場ト云ヘル義ニシテ古代伊太利ニ於テ貨幣ノ守護者及金貨者ハ繁昌ナル城色ノ市場ニテ橙ニ座セシヘブリユー人ナルヲ以テ伊太利語ニ橙ヲ「バンク」ト云フヨリ轉訛セシモノ也云々」。

(註) 文部省百科全書ノ原書ガ Chambers's Informations for the people ナル事ハ文部省渡部薫之介氏ノ報告ニヨリ予ハ知リ得タリ此原書及譯書タル百科全書ノ多クハ當市立商業學校之ヲ藏スルガ故ニ予ハ之ヲ使用スルノ便ヲ得タリ茲ニ渡部氏及比長崎市立商業學校ノ好意ヲ謝ス。

(f) 明治十年十月其卷之一ヲ出版シタル故永田健助氏譯寶氏 (Henry Fawcett 即チ Mr. Fawcett ニアラズシテ其夫人 Mrs. Fawcett 即チ Millicent Garrett Fawcett ナリ) 經濟學 (Political Economy for Beginners ヲ指シ Henry Fawcett 著 Manual of Political Economy ニアラズ) 卷之四第四編上第三十三枚ノ裏ニ、

○銀行ト題シ銀行ナル譯字ノ左側ニ原語ノ發音ヲ示スハ注意スベキガ如シト雖モコレ獨リ銀行ナル文字ニ限リタル事ニアラズ譯者ハ合本會社 (武藤曰クコレ Joint Stock Companies ノ譯也) 交易券 (Bills of Exchange ノ譯) 等ノ譯字ヲ用ヒタリ尙「バンク、オフ、エングランド」英國立ト譯シタルコレ等ノ譯名コソ注意スベキ也。

大要以上ヲ以テ明治維新前後ノ翻譯書ニ就テノ研究ヲ終リ次ニ節ヲ改メテ (其三) トシテ聖書ニ

現ハレタル Money changers 又ハ Bankers ノ譯字ニ就テ日本及支那ト英佛獨蘭語等ノ聖書トヲ比較
スベシ。(未完)